

# 防災・減災の輪

かがわ自主ぼう連絡協議会  
会報 第173号(2021. 8. 1)  
事務局 川西地区自主防災会

## 香川県神社庁 池田 博文 庁長にお話しを伺いました

香川県神社庁 参事 上里 昌史氏  
かがわ自主ぼう連絡協議会会長 岩崎 正朔



香川県神社庁全景



拡大

### 香川県神社庁の紹介

伊勢の神宮を本宗と仰ぐ全国約八万社の神社を包括する神社庁の地方機関として。香川県下に十二の支部を置き、県内七百三十有余社の取り纏めとして、伝統を重んじ、神祇の恩徳を奉体して、神社神道の宣揚と祭祀の振興を図り、神職や神社の事務を執り行うほか、神宮大麻の配布、氏子崇敬者の教化育成、神職養成などに関わる活動を行っています。

また、神社神道に関する広報的側面も有しておりますので、お祭りなどに関して、質問、疑問などがあればお気軽にお尋ね頂ければ幸いです。

池田庁長におかれましては、讃岐國一宮田村神社の宮司様です。



池田庁長 庁長室にて



讃岐國一宮 田村神社

岩崎会長 池田庁長さんにお伺いします。

家庭での防災について、どのような事をしているのか、ザックバランにお聴かせ下さい。

池田庁長 私は神社に住み込んで居ますので、毎年、高松南消防署からの立ち入り  
と2年に1回防災訓練をやっています。また、どこの神社もそうなのですが、いざ  
となった時に、ご神体を持ち出ししますが、ほとんどの神社は夜間に出火した時に、  
神主さんが居ない場合があります、火災が起こった場合には社殿に入れない場合がほと  
んどなので、外から掛矢などで、決まった所を壊せばご神体を出せるようになって  
おります。大きい神社はおおよそそのようにしております。ご神体は本殿の中にあ  
るので、拝殿あたりから出火すると、とても中には入れないので、今は放火が一番  
怖いですね。



新型コロナウイルス対策、アクリル板を挟んで対談を行いました。  
対面の右側 池田庁長様、左側 上里参事様、手前 岩崎会長

特に山間部のお宮だけでなく、自由に入れる神社は昼も、夜も一つの公園みたいになったりしており、特にコロナ禍のため、外でお酒を飲んだり、そういう機会があって、気持ちが高揚すると何をするか分からなくなる場合が怖いのです。警察も見回りには来るのですが、職務質問をするのが精一杯みたいで、定期的に見回りはしておりますが、死角が多すぎるので防犯カメラも設置をしていますが、なかなか現状は厳しいです。職員が居る時に、火災が発生した場合は、参拝者の誘導、初期消火、地震の時、火災の時も常にどのようにするのかは決めております。自主防災も一応しております。

**岩崎会長** 境内の中に消火栓もありますね、消火栓を使った訓練は実施していますか。

**池田庁長** 消火栓を使った訓練は2年に1回しております。消防が来る前のボヤ程度でしたら備え付けの消火器と、本殿にある放水銃にて対応し、訓練時には動作確認もしております。また、民間のセキュリティにお願いしており、消防より先に来てくれました。

これは、15年前に放火があった時の事です、ガソリンが気化爆発しました、爆発した時点で火災警報器がダメになってしまいました。屋根は檜皮葺ですので、布団に火を付けるような形になって、消防が消火を終わって一旦帰っても油断は出来ません、中で燻っている場合があります。社殿にはロウソクとか線香を置いてあり、油類はありませんが、一般の家庭よりは、燃えやすいです。昔からの木造ですので、建物の上も下もが空洞になっており、風通しを良くするため、密閉はしていませんのでとても燃えやすいです。万が一私方が全焼したら、おそらく隣のお寺や近隣にも被害がおよぶ可能性があり、それだけは気を付けております。

昼間の地震に関しては、揺れが収まり、それから社殿の外へ出る。瓦葺では無く、銅板と檜皮葺なので屋根が落下する事は無いですが、向拝殿（賽銭箱がある場所の前方に出ている屋根）はかなり重いので、一度は社殿に留まり、余震が続くようであれば、安全を確保したうえで、参拝者方々には社殿から外へ出て頂くよう誘導します。阪神淡路大震災の時、生田神社の屋根が落ちた状態も考えられるので、この様に誘導するよう、普段から職員には言っております。

**岩崎会長** このあたりの決められた避難所は何処でしょうか。

**池田庁長** 一の宮広域公園です。学校は夜中に閉められているので入れない、神社の方も北の方は防犯のために閉めていますが、人は入る事が出来ます。地域の氏子の方には「第一次避難場所はお宮にして下さい。」と言っています。そうしないと家が倒壊し、外は渋滞している事は間違いなく、連絡するにしても、他に目印になる物も少なく、どこそこと言ってもわからない、お年寄りも多いので、第一の避難場所が田村神社だと多くの方が分かるので、落ち着いてから、第二の行動をして欲

しいと、警察、消防にも言っております。

**岩崎会長** 坂出あたりの事を聞くと第一次避難場所をお宮さんにしてありますが、石造物が結構あります、そこらあたりは、避けて避難して貰わないといけませんね。

**池田庁長** 神社で一番怖いのは、玉垣ですね、鳥居は単発です、玉垣はぐるりと巡らせてあり、中には相当古いものがあり、途中で修復はしていますが、中に鉄筋が通っており一斉に倒れる恐れがあります。それを全て修理するには大変なので、玉垣は気を付けて頂かないといけません。子供達が普段から近寄らないよう注意していますが、玉垣の崩壊が一番気になります。



南参道



社殿正面

**岩崎会長** 熊本地震で応援に行っていましたら、玉垣がバタンと倒れておりました。

**池田庁長** 新しい玉垣も十分な補強を基礎からやっておりますが、想像以上の地震になった場合には、一斉に倒れてしまう恐れがあり、街中の神社を見ると、液状化現象でもろくなります。また、香川県内で阪神淡路大震災のような地震が起こると、狭い県内で一番心配していますが、交通事情ですね、車社会になっており、道は整備されておりますが、あまりにも普段から渋滞がしており、災害時に避難や買い出し等で慌てて外出すると、とても車が動かない。非常時はすぐに外出するのではなく、落ち着いてから出かけることにしないといけない、一斉に皆さんが動くと余計に混雑してだめですね。



南参道の寄付人名板 もし倒れても参道通行者に被害が及ばないように配置してありました

**岩崎会長** 一斉の行動は危険が伴います、このような時に家庭での備蓄が大切になります。

**池田庁長** 食料品、ガソリン等を一斉に購入すると、パニックになる、そこで余震が起きると第二次災害が起きる、最低一日位の備蓄は準備して頂く、これは出来ると思います。

**岩崎会長** 氏子さんをお願いして、米を何俵か袋で置いてもらおう。木太町の福祉団体に洪水の時に福祉団体の建物に避難させてもらおう、その代わりに、毎年、新米が出来たら7袋寄付させてもらおう、1年間置いておけば、新米を持って来てくれると言っておりました。

**池田庁長** ただ最近では近隣の関係が希薄になり、近所付き合いがほとんど無く、親子で住んで居る家がだんだん無くなり、親子が別々な所に住んでおり、隣近所の付き合いが全く無い。自治会についても、一人自治会の方がどんどん増えており、近所に誰が住んで居るのが分からない。このような状況で何かがあった場合に助け合いが出来るかどうか、普段から付き合いをしてないのに、やっぱりそれが心配ですね。備蓄の場所も高松市の出張所などで、あまり知られていない様です。

**岩崎会長** 家庭で皆様が少し3日分とか5日分とかの備蓄をされておりましたら、良いのですが、庁長さんがおっしゃる様に、それだけの機運、気持ちが無い人が多いです。

**池田庁長** 少し前から増えていますが、家庭で食事をせず、外食が主流の方は家で食事を作らない。そういう方がいざ備蓄をするにしても、何を備蓄したら良いものか、水、水と言っても、大量に使うのはトイレですよ。また災害時のトイレは怖

いと思う、外の公衆トイレを使用するなど、色々するのだけど、水も流れない様になり、大変な状態になってしまいます。一斉に使うと処理が追い付かなくなります。家庭のトイレも心配です。

つぎに家庭内で、避難場所を決めておく、それから備蓄についても3日間位耐えられるように準備をしておくことが大切だと思います。とにかく大きな災害だと、携帯電話も固定電話も使えなくなり、車も使えなくなるだろう。高齢者も多くなっているので救急時の病院対応ですね。最近のコロナ対応でも、対応者が増えると不安がありますね。香川県でも異常気象のせいで何が起こるか分からないので県民としても、行政にしても覚悟が必要でないかと思う。最後は周辺の企業の方々に頑張って頂きたいと願っています。

**岩崎会長** 企業の皆さんとの連携は防災にとっても、まちづくりにとっても大切です。

**池田庁長** 水は高知県、徳島県に頼らざるを得ない、生理食塩水などは大塚製薬さんをお願いしないとイケません。近年は、第一次産業が軽んぜられ、第三次産業の特にIT産業ばかりが脚光を浴びていますが、災害直後にITは全く使えません、携帯、ネット通信、全然ダメです、だからそれを考えて、便利になったけど、何かあった時、その便利は一切使えない事を頭に入れないとイケない、その時は、第一次産業の農業、漁業、林業が必要なので、これを絶やしたらもうダメですね。

**岩崎会長** 災害時には、ローテク、ローテクでハイテクは全部ダメになる。

**池田庁長** 日本も災害が多く発生しており、世界中でも危機感はあると思う、だからやはり、これでもかと言う位の備えは必要だと思います、お金がないから無理だと言っても、けどお金があっても、お金が無くても、やれる事はあるのです、家庭でやれる事で良いのです。危機感を持つことが必要です。

**岩崎会長** 僕ら子供の時から、朝、起きたら神さんにお参りして、先祖の仏さんにお参りして、両方にお供え上げて、それから自分がお飯食べるという生活でした。

**池田庁長** 以前は、自治会は無かったが隣組が有り、もう常に何でも、夏休みになったら、琴電バスを借りて海水浴に行ったりしていました、何でも無い時に集まりが出来る、お祭りの時期には、大人が子供に獅子を教えて、上下関係で厳しさも教わり、地域のルールがあり、それも全部大人が教える、だから昔の方が良く出来ております。

**岩崎会長** 庁長さんがおっしゃる通り、小学校2年生の時、獅子舞の太鼓打ちを2、3年して、6年生になったら鐘を叩く役をして、高等学校になれば体もあるので獅

子を使えと、年寄が教えてくれる、ここはこう使わないかんとか言って、今度、自分が上になって年が行ったら若い子に同じ事を教えて行く。



**池田庁長** 「防災で一番大事なのは助け合いです、自分ひとりで何とかは無理です。いざとなったらお金も通用しない、文明の利器も一切通用しない、その時助け合うのは人と人です、これしかありません。だから、やはり中々言えないが道德ですよ、まず防災のためにやる事は、老いも若きも道德です、これから始めないと無理です、人間一人でやっていける訳ではない、普段でもそうですので、いざとなれば余計無理です、その為には、やはり道德です。道德はものすごく時間がかかります、けどお金がかかりませんから。」

**上里参事** 地域の繋がりが大事ですね、特に防災は、年配の方が居て、若者が居ます。地域の方が顔見知りになるのが防災の一番ですね。

**池田庁長** 昔は、お祭りで休むのは、当たり前だと、神様祭って、地域の安全を祈願する。今はお祭りして何になるのか、忙しい、忙しくは無いが他人と関わりたくない。いつもは、関わりたくないのに、いざ何かあった時だけ関わってくれと言っても無理です。

**岩崎会長** そう言う人に限って、いざとなれば、無理を甘えて来る、逆に向こうから、あれくれ、何くれと言ってくる、常には僕ら頼んだら横向いておっても、時間がない、忙しいと言っており、災害になれば一番に飛んできますよ。

**池田庁長** 香川県の県民性で災害が無かった分だけ、ずるいと言う事ですね、金持ち程、金を出さない、ずるいですね。これは他の県と危機感が全然違います、特に高知県などは、明治維新の時もそうだったし、やはり苦勞しております、讃岐の国は比較的裕福だったから、いざとなったら天守閣を燃やしてしまった。そんな事、あまりマスメディアでは取り上げないです。また昔から、讃岐三白（塩 砂糖 綿）があったので、ひどい貧困は知らない、ただ、大金持ちでもなく、努力もせず、協力もしない、だから偉人が少ない。

**岩崎会長** 丸亀市内の高等学校へ防災訓練に行くのですが、先生達の足元見たら、運動場でサンダル履いており、講評の場で指摘させていただいております。

**池田庁長** 僕らの時は、ジャジー姿の先生がいっぱい居った、竹刀持って居った、僕だけではなかったが、特に僕は級長をしていたので、常に拳で殴られていた、いまだに何で殴られたかは覚えていない。大きくなって先生に、あれ何で殴ったのかと聞いたら覚えてない。だけどそれだけ熱心に昔の先生はやられていた事は良く分かります。僕らの年代は、こぶしでやられたり、耳がキュウと千切れそうになったり、体罰を受けました。

**池田庁長** 先生が家庭訪問に来ると言ったら、朝から親がソワソワして掃除し始めて、近くの、ほくろ屋さんと言う、お菓子屋さんにも饅頭を買いに行く、もう大騒ぎでした。お祭りもそうです、お祭りになったら近所の人が集まり、今まで食べた事ないような、寿司とか押し寿司を作り、やはり特別な日、ところが、特別な日がどんどん普通の日になり、これは子供の情操教育に悪いと思います。子供には、今日はお祭りだから、今日はお正月だから、今日は何々だからと喜び、楽しみがある特別な日が必要です。ただ単に今日は、親が早く帰って来るから美味しいものを食べる、それではいかんと思います。

**岩崎会長** 僕ら太鼓打ちしたら、ご祝儀を小さな包みでくれる、家使いしておったら、ここに一杯入れておりました。

**池田庁長** 最近コロナウイルス感染症の関係で、キャンプなどが流行り、自然を相手にしようとしていますが、本当の自然ではありません。周りは自然ですが、必要な物は全部準備されています、水洗トイレはあり、オートキャンプ場は、電源、サイト、車の中でエアコンが効きます、あくまでも自然な感じを楽しむものです。

**岩崎会長** 今年の祭り、10月ですが、今の動きは微妙ですからね、東京あたりから、また西の方に向けて下がって来たら、大変ですね。

**上里参事** 今年こそは、お祭りを斎行して頂きたい気持ちですが、コロナ禍の状況を確認しながら、獅子舞の練習や、色々な準備も有りますので、早めに方針を決めて、皆さんにお伝えしたいです。また、極端な話、三日で状況が変わるので、その都度、都度で判断して対応したいです。ぜひ、今年の秋祭りは、神事、お神輿、賑わい事が行える、いつものお祭りになればと言う願いは強いです。

**岩崎会長** 長時間にわたり、色々とお話を聞かせて頂き、ありがとうございました。



## 〈讃岐國一宮〉

## 田村神社のご紹介

- ・ ご祭神 やまととひもそひめのみこと  
倭迹迹日百襲姫命 あめのかぐやまのみこと たかくらじのみこと  
天隠山命 (高倉下命)  
いさせりひこのみこと きびつひこのみこと  
五十狭芹彦命 (吉備津彦命) あめのいたねのみこと あめのむらくものみこと  
天五田根命 (天村雲命)  
さるたひこのおおかみ  
猿田彦大神
- ・ 由緒 (主たるもの)
  - ・ 和銅2年(709)に創建。
  - ・ 嘉祥2年(849)従5位下に叙せられる。
  - ・ 貞観3年(861)に官社となり讃岐国の一宮に定められる。
  - ・ 建仁元年(1201)に正一位の極位に叙せられた。
- ・ 主たる行事
  - ・ 元旦祭(1月元旦)
  - ・ 夏越祭(7月1～2日)
  - ・ 御火焚き祭り(1月15日)
  - ・ 秋季例大祭(10月7～8日)
  - ・ 節分祭(2月節分の日)
  - ・ 七五三詣で(11月15日)
  - ・ 春季例大祭(5月7～8日)

田村神社のホームページより



元旦祭(1月1日)



春季例大祭(5月7,8日)



七夕祭り(7月7日)



秋季例大祭(10月7,8日)

## 編集後記

＜岩崎正朔＞

1. 今月号は、香川県神社庁長の池田博文様のインタビュー取材をお願いしました。  
インタビューの後に写真撮影のため、田村神社に寄せていただき、北参道から入場し、本宮をはじめ、由緒のある建築物を撮影を兼ね拝観させていただきました。小生も丸亀市の小さな神社の総代をつとめており、興味深く見せていただきましたが、この素晴らしい建築物の維持管理には相当なエネルギー（宮司様を始めとする神職の皆様と氏家総代関係者のご尽力）が必要でないかと拝察させていただきました。
2. 古い盟友がまたひとり欠けました。  
平成 18 年ごろから高松市岡本町から数名の防災仲間と共に私供（川西地区）のコミュニティセンターへ立ち寄っていただいたり、川西地区からも川部地区のコミュニティセンターへ伺い防災に関する意見交換や食事と一緒にさせていただきました。又、3 年前の岡山県真備町への復興支援にも参加しました、山崎利春さんが令和 3 年 7 月 30 日に遠い旅路に入りました。長い間お疲れ様でした。ご冥福をお祈り申し上げます。